

第 13 回 史跡米子城跡整備検討委員会 議事録

日 時	令和 5 年 9 月 26 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 00
会 場	米子市役所第二庁舎 第 2 会議室
出席者	<p>【委員 12 名】</p> <p>田中委員長、高田副委員長、石倉委員、植田委員、金澤委員、神谷委員、辻谷委員、永松委員、萩原委員、林委員、濱田委員、前角委員、</p> <p>【事務局 7 名】米子市文化振興課</p> <p>原課長、山根室長、濱野課長補佐、浦木係長、日下部主任、中原専門官、岩本主事</p> <p>【助言機関】鳥取県とっとり弥生の王国推進課</p> <p>梅村文化財主事</p>
欠席者	【委員】小椋委員、川越委員、中井委員
1. 開会 (事)	
2. 正・副委員長の選出	
事務局	田中委員に委員長、高田委員に副委員長をお願いしたい。→承認
3. 議事	
(1) 石垣修理について	
事務局	<p>石垣カルテ、二の丸石垣修理基本設計を踏まえ、修理方針について説明 (資料 1-1~12)</p> <p>① 露出展示 (C-7)</p> <p>実際の石垣の高さ (鏡石の全体像) がわかるよう、現在の地表から 2m 掘り下げ、階段を設け降りれるようにし、柵を設け観察できるようにする。</p> <p>② 積みなおし (C-5、C-11)</p> <p>石垣に孕み、一部石垣に亀裂が入っている。また、道路に面しており、危険度 A の判定を受けているため、積みなおしを考えている。解体修理にあたっての石材の確保については、新たに石材を用意する必要があるが、可能な限りオリジナルの石材を使用する。ただし、解体の際に状態を確認し利用できるかの検討が必要となる。</p> <p>③ ネット張 (C-12)</p> <p>オリジナルの石垣を残していくため、ネット張とする。ただし、崩れるのを防ぐことはできないため、展示の際は見学者との間に石垣の高さの 1.5 倍程度の離隔を設ける。</p> <p>④ 保護盛土 (C-13)</p> <p>地下部の石垣の状態が悪いため、保護盛土を残す。</p>
委員	石垣カルテは石材の材質などを 1 つ 1 つ実測しているのか
事務局	文化庁の石垣整備の手引きに基づいたカルテを作成し、レーザー測量にて計測している。石材を個別にすべてまでは調査していない。
委員	割れている石垣について、変形測量はしているか
事務局	数年前より行っている。変形無を確認している。

委員	石垣はいつの時代のものであるか。
事務局	調査成果から中村の時代ではないかと推察している。
委員	桁形石垣の上に樹木があったが、根の影響は？
事務局	石垣上の樹木の根が間詰め石を追い出し、ハラミが生じた
委員	鏡石の露出展示について、階段は1か所で降りたら折り返しとなるのか
事務局	その通りである
委員	石垣修理と展示について動線を考え、修理の順番を決定していくように
事務局	了解した
委員	ネット張について、アンカーとフトンカゴそれぞれのメリット・デメリットは
事務局	○アンカー メリット：全面展示が可能 デメリット：アンカーの深さが遺構面(1.5m)までしか取れない ○フトンカゴ メリット：遺構面の考慮不要 デメリット：石垣の下半分が隠れる 強度は同じくらいである
委員	フトンカゴの代わりに土嚢で埋めることは可能か
事務局	土で全面埋めるような形になるため、遺構保護には良いが、展示ができなくなる
委員	全国的にはアンカーが主流である。米子市としての考えは？
事務局	全面展示が可能であり、遺構面まで1.5m取れるため、アンカーを考えている
委員	フトンカゴにすると、それ自体を石垣とみられる場合もある。遺構面まで十分な距離がとれていてアンカーを打つことが可能なのであればアンカーで固定する方針がよいと思う。
(2) 三の丸 便益施設（ガイダンス機能）について	
事務局	ガイダンス施設の展示方針について説明 ① パネル展示 四半期に一度程度の頻度でパネルを交換していく ② モニター 前回の検討委員会であった石垣修理作業の映像を映せるものを業者と調整中 ③ ジオラマ展示 1/1500で城下町を含むものを計画中
委員	何を目的としたジオラマになるか
事務局	往時の城下町を表現し、当時の街並みと現在の街並みを対比できるようにしていく予定

委員	ジオラマは細部までこだわって作ると感動が得られる。どの時点の城下で、発掘調査によって得られた知見を盛り込んだリアリティのあるものにしていくことが必要
事務局	現存する絵図面、発掘調査結果をもとに往時の状況を再現していく
委員	パネル展示と連携し、発掘調査の結果やその場所を示していけるとより、来られる方の理解を深めることができる
委員	足が悪くて、天守まで登れない人でも、ジオラマを見れば大体の状況がわかるように、シンプルでいいので作ってほしい
4. 報告	
(1) 令和5年度整備について	
事務局	令和5年度整備事業について 登城路：3工区の一部を整備中 便益施設：2月末頃の完成予定
委員	登城路について、自然保護の観点から評判が良くない、小動物の移動を妨げるようになるため、横断ができるよう配慮ができれば
委員	安全面や遺構の保護としてはいいのだろうが、景観的に城跡になじむものにできないか
事務局	検討していく
(2) 樹木伐採について	
事務局	令和4年度伐採樹木についての撤去方針について説明
委員	樹木を一本切ると大きく景色が変わる。切った後の景色がどれだけ変わるかを検討したうえで、こんな風に見えるようにしたいと情報発信することが大事。 伐採本数でなく、どのエリア（面）を伐採するかを発信していくべき 切った後の処理をどうしていくかが大事
委員	そもそも、城に木がなかったことを知らない人も多い、資料などを提示して当時の城の情景を発信していくのも理解を深めてもらえると思う。
委員	当時ははげ山だったのか？
委員	米子城跡並みの規模であれば全く気が生えて無いわけではないが、今の状態ではないと思われる。
委員	最近の研究では、絵図に書かれている状態が結構正確だといわれている
委員	石垣の見え方が全然違う。素晴らしいと思う。
事務局	今まで、目的を十分に発信できていなかった。木を切ること自体が目的ではない。何のために切るのか、今後どのような姿にしていきたいのかを委員会に諮りながら発信していく。
(3) 土砂災害対応について	
事務局	R5.7.31発生した土砂災害の対応について説明 浮石撤去、枯れ木処理、堆積土砂撤去
(4) 令和5年度米子城・魅せる！プロジェクト事業について	

事務局	実施事業・実施予定事業について説明
5. その他	
事務局	次回 2 月頃開催予定